

Break off



——
あの日



私自身が
引き止め——

言葉にして

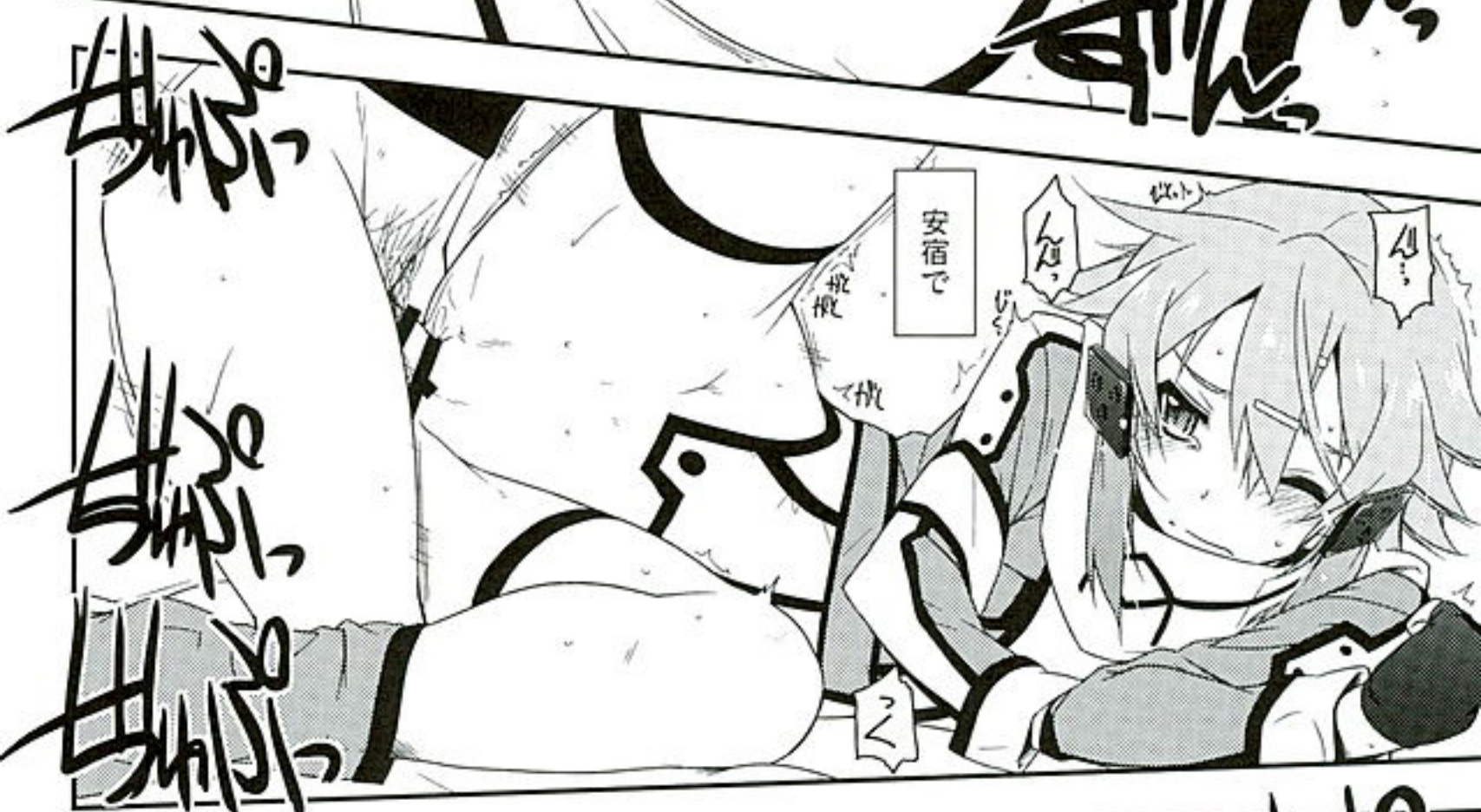


自ら望んで



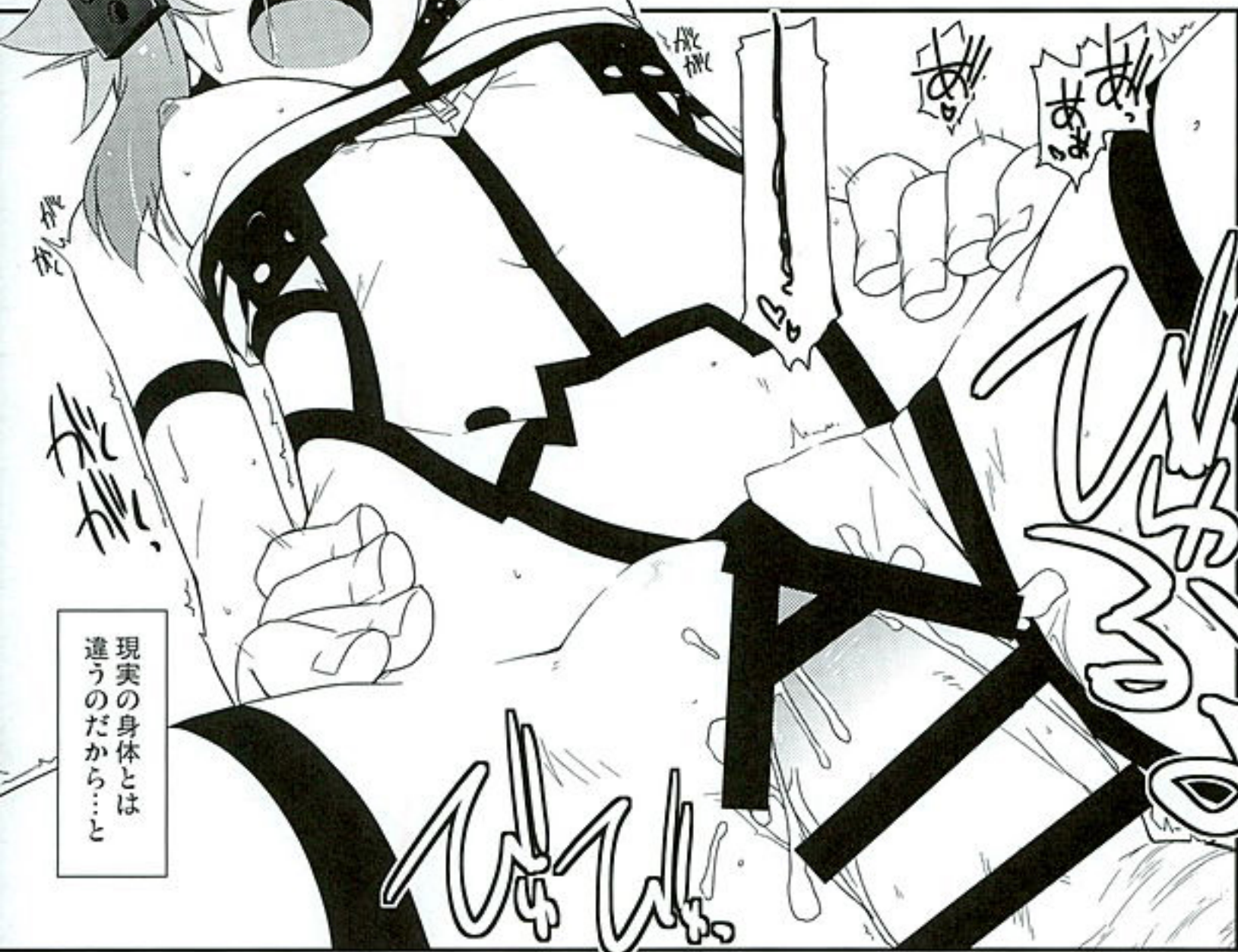
犯されて——

その日から
路地裏で

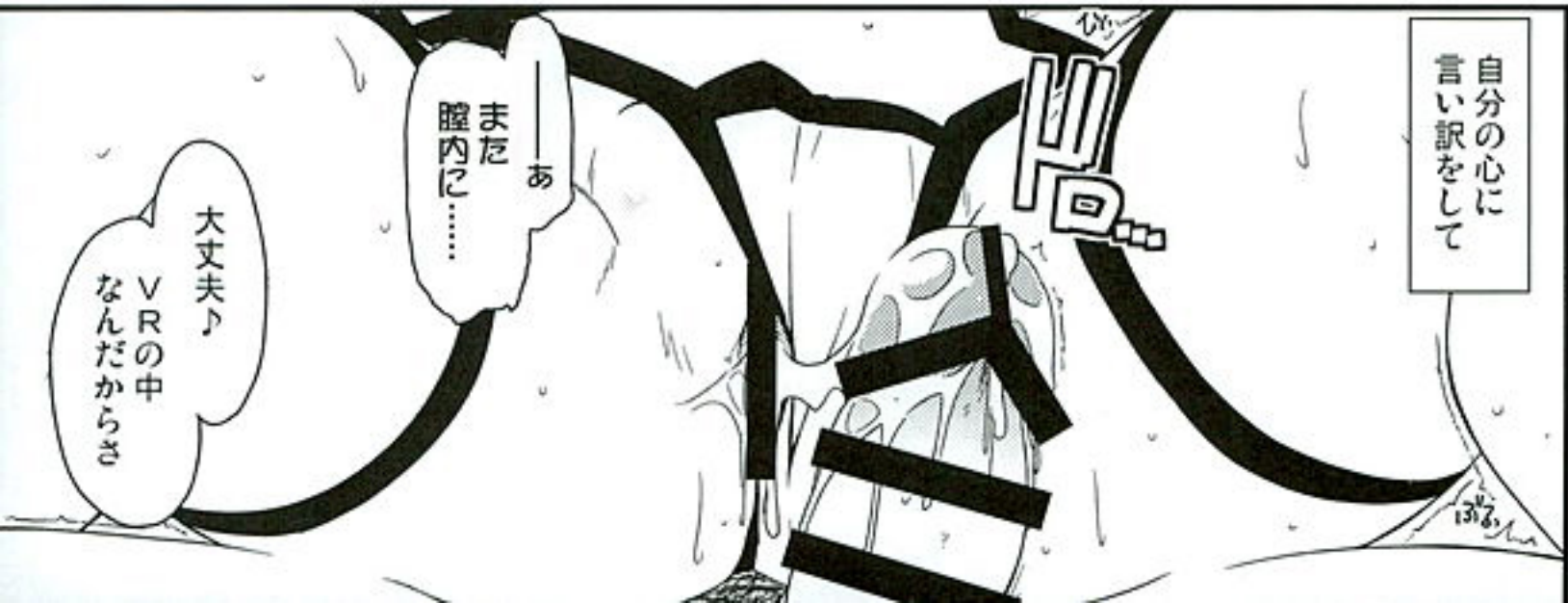




VR内での
ことだからと



現実の身体とは
違うのだから…と



自分の心に
言い訳をして

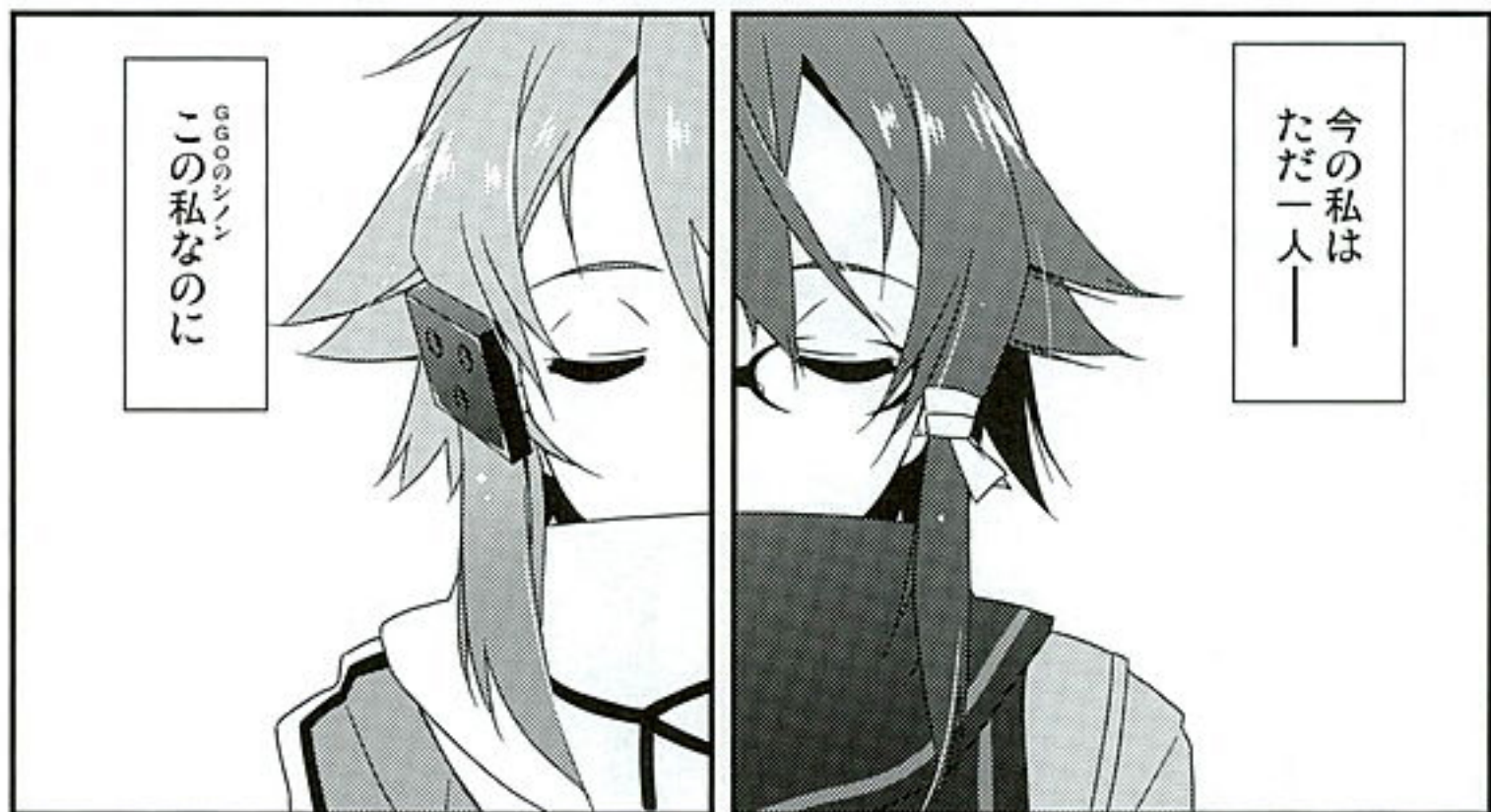
あ
また
腔内に……

大丈夫♪
VRの中
なんだからさ



今
ここに
いる

その場所が
現実——



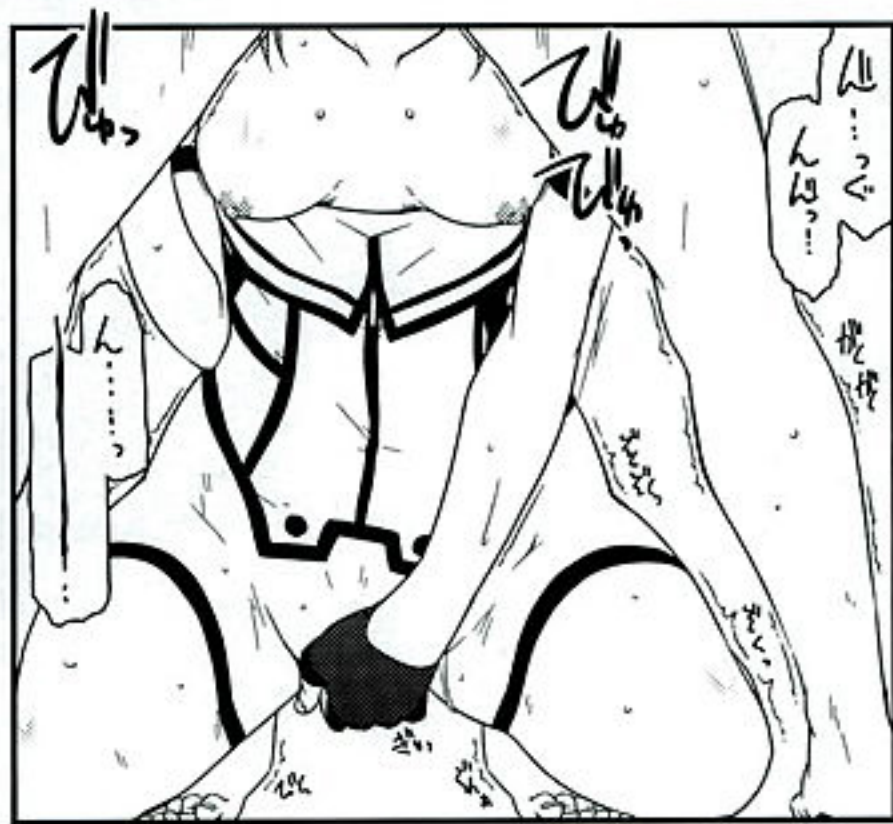
gggghhhhh
この私なのに

今の私は
ただ一人——



それなのに

今
ここに
いる



VRの中での
ことだから

キー
キー……

シノンだから

ね！ね！

朝田さん
少し雰囲気
変わったよね？

やっぱり
そう思う？

たぶん
アレじゃない？

この前
校門のところで——

聞いた聞いた！

じゃあその……

うんうん！

きつと——

朝田詩乃には
なんの影響も無い

そのはずだから
——と



わたし
朝田詩乃と

そんなわけ
無いのに



切り分けて

わたしを
シノン



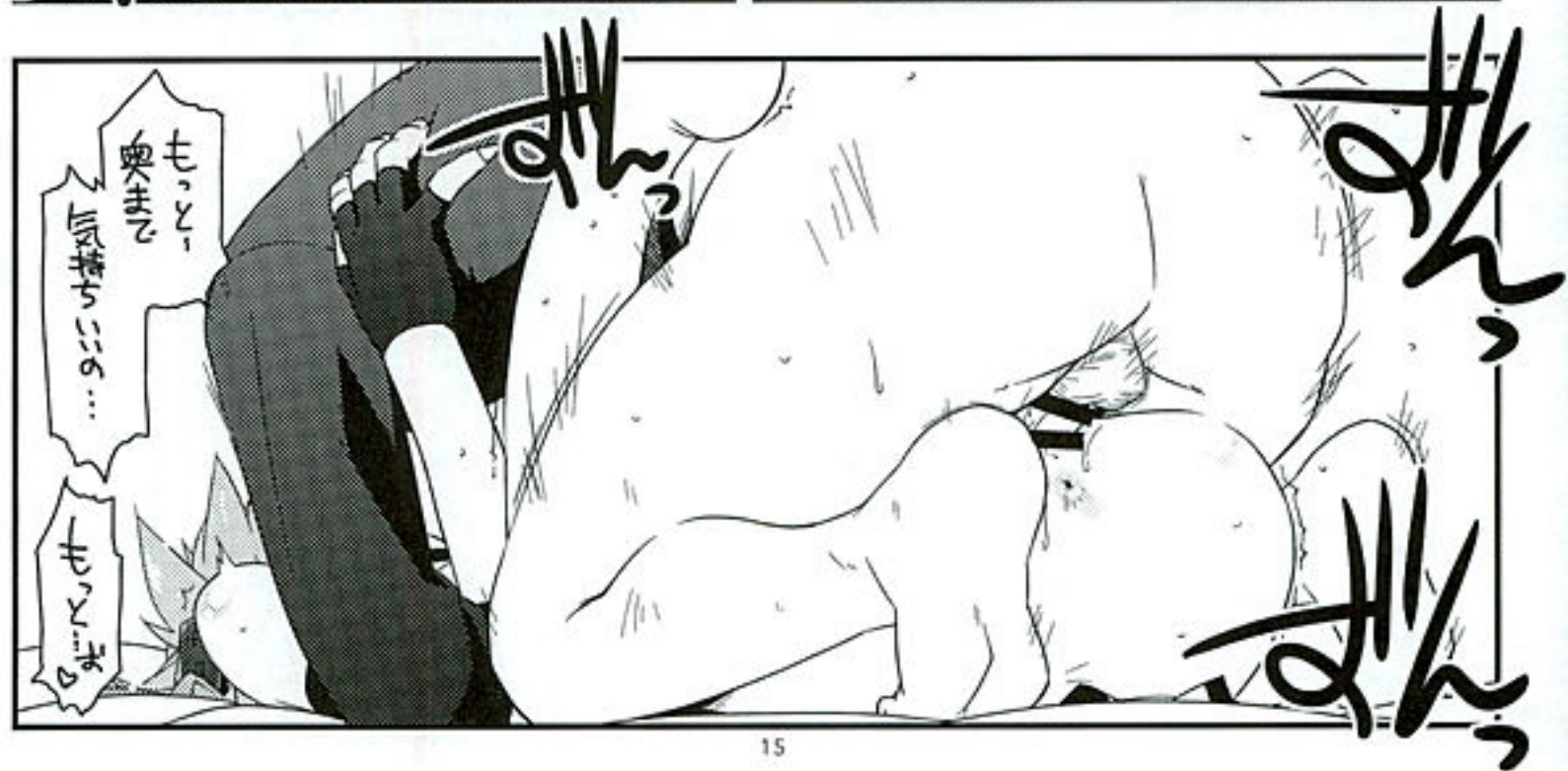
また—



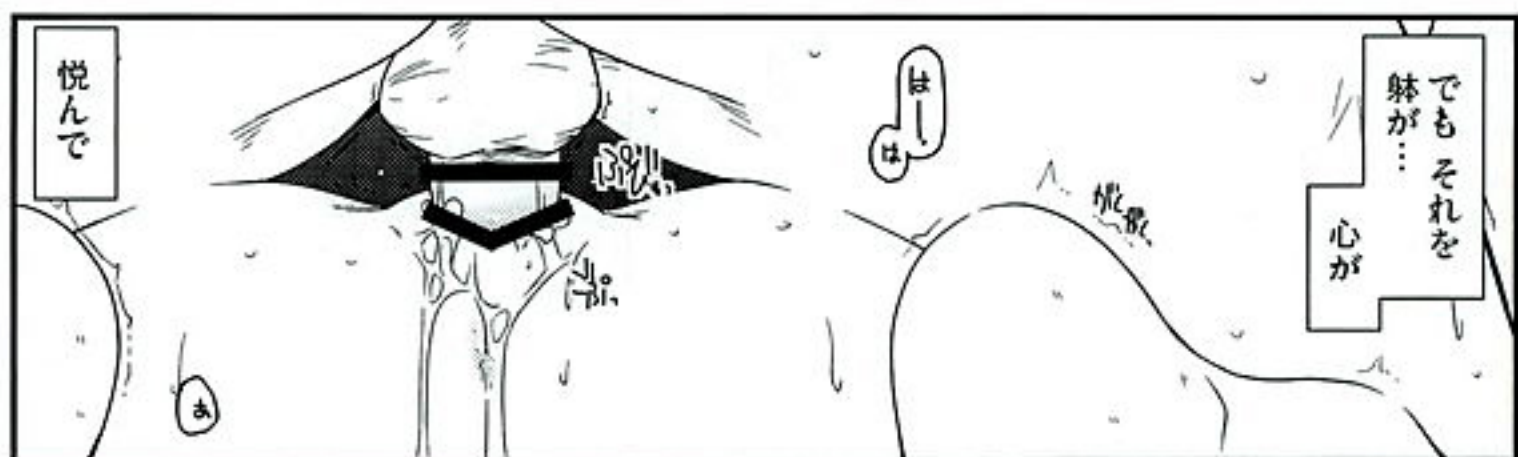
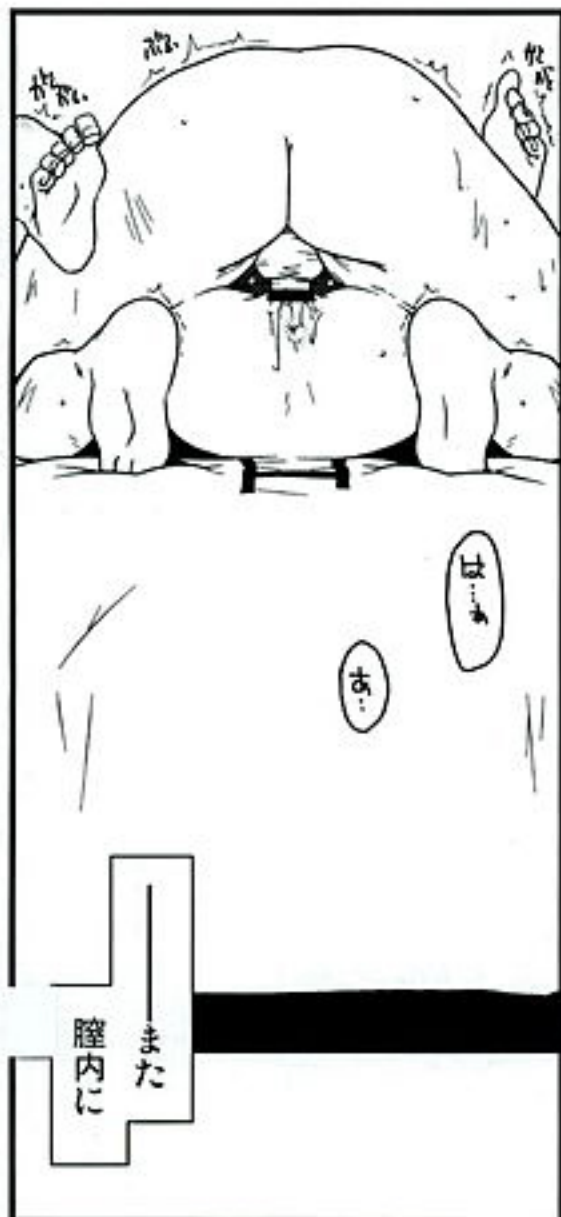
や…あ
駄目…

……









素性を話した
朝田詩乃監禁調教 編

素性を話さず
朝田詩乃痴漢電車 編

……また？
またなの？



Fan Fiction of "ソードアート・オンライン"
行脚堂 presents / X-rated
case of "シノン"

Break off